

LOBO調査【全国商工会議所早期景気観測調査】

2026.1月速報 業況DIは長引く物価高が足かせとなりほぼ横ばい。先行きは経営課題の長期化で慎重な見方

全産業合計の業況DIは、▲17.9（前月比+0.1ポイント）。物価高の長期化に伴う消費者の節約志向の高まりを受け、小売業では商店街を中心に買い控えがみられたほか、サービス業では飲食店を中心に客数が減少し悪化しました。一方、製造業では、堅調な設備投資・半導体需要を背景に機械器具関係で引き合いがみられ、改善しました。コスト負担への理解が進んでいることもあり、全体として価格転嫁に進展がみられています。取適法の施行で、発注先との取引適正化が進んでいるという声も聞かれました。しかし、長引く物価高による消費マインドの弱さみや、円安の影響を含む原材料価格や労務費の高騰、人手不足による供給制約などが重荷となり、業況はほぼ横ばいとなりました。

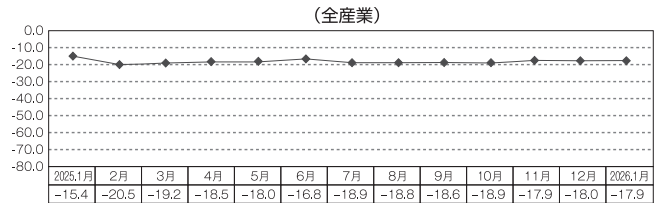
【産業別概況と見通し】 前月と比べたDI値の動き ▶改善 →ほぼ横ばい ▼悪化

→ 建設業	<p>公共工事や設備投資は底堅く推移しているものの、資材価格や労務費の高騰が継続していることに加え、人手不足による供給制約も発生しており、ほぼ横ばい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「案件数は引き続き堅調に推移しているが、働き方改革や人手不足の影響により対応可能な工事量に制約が生じており、受注を見送らざるを得ないケースが発生している。また、資材不足や納期遅延も発生しており、工程管理や現場対応の負担が増している」（一般工事業） 「受注は旺盛なため、ある程度仕事を選ぶことができる状況であるが、資材や労務費の高騰で利益率は下がっている」（管工事業）
▶ 製造業	<p>堅調な設備投資・半導体需要を背景に機械器具関係で引き合いがみられ、改善。一部事業者からは、今月から取適法が施行され、取引適正化に向けた動きの進展を指摘する声も聞かれた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「半導体関連の需要が旺盛。少なくとも2026年中は、半導体製造装置の増産が安定して続く見込みとなっている」（金属製品製造業） 「今月から取適法が施行されたからか、発注先から金型の保管料の協議の提案があった。製品そのものの価格協議は道半ばであるが、これが実現すれば、賃上げ原資も確保できる」（鉄鋼業）
→ 卸売業	<p>飲食品関係で価格転嫁に進展がみられたほか、設備投資需要を受けた建築資材関連で売上が増加した一方、物価高に伴う消費者の節約志向の高まりから生活必需品以外の引き合いが減少し、ほぼ横ばい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「取引先から価格転嫁に一定の理解が得られ、販売価格を上げた。もっとも、大手が低価格を維持する中、仕入価格の上昇分をどの程度転嫁するか判断が難しい。価格転嫁後は、販売量が減少している」（食料・飲料卸売業） 「嗜好品に対する節約意識が強く、当社で取り扱う酒の需要は芳しくない」（酒卸売業）
▼ 小売業	<p>物価高に伴う消費者の節約志向の高まりから、商店街を中心に買い控えがみられ、悪化。お正月・成人式等のハレの日需要がみられたものの、例年と比べて盛り上がりなかったとの声も聞かれた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「例年に比べ、新年の初売りの客数が明らかに減少した。物価高に伴う節約志向の高まりから、近隣の量販店に客が流れたのかもしれない」（商店街） 「消費者の値上げ疲れが鮮明。物価上昇に賃金上昇が追いつかない世帯では、新車購入をあきらめて中古車を購入したり、残価設定ローンを選択する顧客が増えている」（自動車販売業）
▼ サービス業	<p>仕入価格や労務費等のコスト高が重荷となる中、消費者の節約志向の高まりを受け飲食店を中心に客数が減少し、悪化。一部地域の観光関連事業者からは、訪日中国人減少に伴い、先行きを不安視する声も聞かれている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「人手不足を背景に当社への内職の依頼が増加している。仕入価格の上昇が続いているため、価格転嫁を段階的に行っている」（事業サービス業） 「コスト上昇分を価格転嫁して売上は増加しているが、上昇分全てはカバーできていない。物価高の中、値上げが消費者にどこまで受け入れられるか不安である。また、中国からのインバウンド客減少の影響を懸念している」（飲食店）

業況DIの推移

	2025年 8月	9月	10月	11月	12月	1月	見通し 2~4月
全産業	▲18.8	▲18.6	▲18.9	▲17.9	▲18.0	▲17.9	▲17.8
建設業	▲13.4	▲10.2	▲13.5	▲16.5	▲14.7	▲15.2	▲14.3
製造業	▲19.7	▲23.9	▲21.0	▲19.7	▲21.6	▲17.2	▲17.6
卸売業	▲26.6	▲24.8	▲24.2	▲24.7	▲23.4	▲23.8	▲18.3
小売業	▲27.0	▲23.6	▲29.3	▲26.4	▲24.0	▲25.1	▲22.8
サービス業	▲11.6	▲12.3	▲10.0	▲7.7	▲9.9	▲12.1	▲16.3

※見通しは、当月に比べて向こう3ヶ月の先行き見通しDI



※調査期間：2026年1月15日～21日

全国324商工会議所が2,442企業にヒアリング(東北については、被災を免れた企業や被害が軽微な企業から回答)

※DI値（景況判断指数）

業況：売上・採算などの各項目についての判断の状況を表す。ゼロを基準として、景況感の相対的な広がり意味する。

県内企業倒産発生状況

倒産件数は6か月連続で一桁台、小康状態が続く

〈令和8年1月概況と見通し〉

山形県内の経済は、公共投資の大幅増、鉱工業生産の持ち直しなどがあるものの、設備投資の減少や住宅投資の弱い動き、回復しきれていない個人消費などの弱含みの動きもかわらず続いており、全体としては緩やかに回復していると見られています。2025年8月～2026年1月の倒産は一桁台と小康を保っており、政府主導の種々の物価高騰対策が消費の回復や企業業績の改善に向かうことに期待されています。一方で可処分所得の伸び悩み

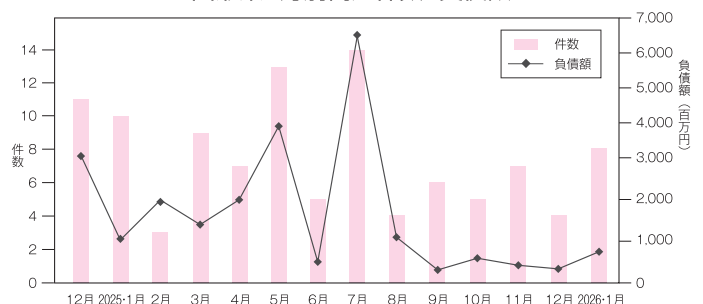
や人口減少による総体的な需要低下など、先行きへの不透明感も払拭できていません。また金利上昇の他、円安を反映した資材価格の高騰、トランプ関税、米中貿易摩擦、日中間の政情不安などの問題も多い中、業績回復の遅れた企業や資金繰りが難航している企業などの息切れリスクは高まりつつあり、倒産件数は一進一退を繰り返しながらも、大局的には増勢を辿っていくものと見られています。

	(負債額1千万円以上)			
	東南置賜		山形県	
	件数	負債金額	件数	負債金額
令和7年12月	2	百万円 145	8	百万円 751
前月比(%)	-	-	200.0	204.1
前年同月比(%)	100.0	126.1	80.0	64.9

東南置賜…米沢・南陽・高島・川西

資料/東京商工リサーチ

山形県 月別倒産件数 負債額



県内消費者物価指数 前年の水準を上回った

令和7年12月	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
食料	129.0	0.3	4.1
住居	108.7	0.0	0.4
光熱・水道	117.9	0.1	0.1
家具・家事用品	119.6	▲0.2	▲2.4
被服及び履物	115.5	▲0.6	▲0.6
保健医療	105.2	▲0.4	▲0.4
交通・通信	99.8	▲0.9	▲0.9
教育	87.1	0.0	0.0
教養娯楽	118.0	0.2	0.2
諸雑費	104.5	0.2	0.2
総合	113.7	▲0.1	1.4

資料：山形県みらい企画創造部統計企画課

百貨店・スーパーの商品別販売額 県内の販売額は前年を上回った

令和7年11月 (単位：百万円、%)

品目	全 国		山 形 県	
	百貨店+スーパー		百貨店+スーパー	
	販売額	前年同月比 全店舗	販売額	前年同月比 全店舗
紳士服・洋品	49,989	▲2.3	193	▲3.4
婦人・子供服・洋品	151,616	▲1.4	141	▲11.9
その他の衣料品	13,835	▲4.9	23	▲18.3
身の回り品	99,410	▲3.3	35	▲9.5
飲 食 料 品	1,293,000	6.4	10,673	5.9
家 具	7,241	▲5.7	125	8.7
家庭用電気機械器具	16,784	9.5	53	▲0.8
家庭用品	36,466	▲1.5	223	▲4.2
その他の商品	309,881	7.5	807	5.3
食堂・喫茶	12,229	0.8	32	▲0.1
合 計	1,990,450	4.9	12,305	5.1

経済産業省 東北経済産業局調べ
(注・販売額は四捨五入の関係で合計とは一致しない場合があります)

米沢市の人口と世帯数

令和8年1月1日現在

人 口 75,489人 (76,766人)

世帯数 33,535世帯 (33,619世帯) 一世帯当たり 2.25人 (2.28人)

() 内前年同月データ 資料/米沢市政策企画課統計調査担当

一般職業紹介 有効求人倍率は前年を0.09ポイント下回った

米沢市 新規学卒除きパートタイム含む

		求人数	求職数	求人倍率	充足数
令和7年12月	有効	2,520	2,074	1.22	157
	新規	769	462	1.66	-
前月比 (%)	有効	98.1	97.4	100.8	109.0
	新規	102.4	112.1	91.2	-
前年同月比 (%)	有効	90.8	97.9	93.1	109.0
	新規	69.5	88.0	78.7	-

充足数…自安定所の有効求人が安定所の紹介により、求職者と結合した件数

職種別 (山形県)

	求人数	求職者数	求人倍率
管 理	33	28	1.18
専 門 ・ 技 術	3,443	1,570	2.19
事 務	1,733	3,694	0.47
販 売	2,082	904	2.30
サ ー ビ ス	3,693	1,706	2.16
保 安	674	90	7.49
農 林 漁 業	189	270	0.70
生 産 工 程	3,289	2,085	1.58
輸 送 ・ 機 械 運 転	1,078	412	2.62
建 設 ・ 採 掘	1,472	240	6.13
運 搬 ・ 清 掃	1,615	2,849	0.5
そ の 他	0	1,450	-

(主要業務指数・パートタイムを含む全数)
資料：山形労働局職業安定課

米沢市建築確認申請状況 (専用住宅) 件数・床面積とも前年を下回った

令和8年1月		件 数			床 面 積 (㎡)		
		2・3号建築物	4号建築物	小 計	2・3号建築物	4号建築物	小 計
		総 数	1	7	8	111	626
新 築	1	7	8	111	626	737	
増 築	0	0	0	0	0	0	
前月比 (%)	総 数	-	63.6	72.7	-	49.7	58.5
前年同月比 (%)	総 数	-	63.6	72.7	-	65.9	77.6

専用住宅 2・3号建築物…建築基準法第6条第1項2・3号建築物 (木造3階建築物、木造以外の2階以上建築物など)
4号建築物…建築基準法第6条第1項4号建築物 (2・3号に挙げる建築物以外、木造2階住宅など)

